



平成 21 年 2 月 13 日

各 位

会 社 名 旭 テ ッ ク 株 式 会 社
 代 表 者 名 執 行 役 社 長 石 井 英 夫
 (コード番号 : 5606 東証第 1 部)
 問 合 せ 先 経 理 部 長 小 谷 野 義 雄
 (TEL 0537-36-3103)

特別利益、特別損失及び業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 20 年 11 月 26 日に公表しました連結業績予想及び個別業績予想を下記の通り修正いたします。

記

1. 連結業績予想数値の修正

平成 21 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A) (平成 20 年 11 月 26 日発表)	258,900	△3,700	△13,200	△600
今回修正予想 (B)	218,500	△6,700	△15,900	△280
増減額 (B-A)	△40,400	△3,000	△2,700	320
増減率	-15.6%	-	-	-
(ご参考) 前期実績	315,885	3,340	△8,602	△34,818

2. 個別業績予想数値の修正

平成 21 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正 (平成 20 年 4 月 1 日 ~ 平成 21 年 3 月 31 日)

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A) (平成 20 年 11 月 26 日発表)	45,000	1,300	750	400
今回修正予想 (B)	40,100	550	△30	△380
増減額 (B-A)	△4,900	△750	△780	△780
増減率	-10.9%	-57.7%	-	-
(ご参考) 前期実績	56,609	2,032	1,589	△31,393

3. 修正の理由

連結の業績予想については、世界的な金融市場の混乱のあおりを受け、自動車市場全体の生産台数が減少し、主要客先の大幅な減産により売上高の減少は避けられず、営業利益、経常利益は前回発表予想を下回る見込みです。

また、特別利益、特別損失を下記内容にて第3四半期連結会計期間の実績及び第4四半期連結会計期間に計上を予測しており、通期での当期純利益は前回発表予想を上回る見込みです。

(単位：億円)

特別利益	実績	Q4 予想	通期予想
社債の債務免除益	31		31
退職給付引当金戻入額	15		15
社債の償還差益（注1）	311		311
その他	3		3
計	361		361
特別損失			
減損損失	92		92
固定資産及びリース資産処分損	15		15
リストラ費用等（注2）	3	69	72
その他	5		5
計	117	69	186

(注)1. 平成20年11月26日時点では、社債の償還差益316億円を見込んでおりましたが、為替換算の影響により、第3四半期において311億円計上いたしました。

2. 当第4四半期連結会計期間予想については、メタルダイン社の再構築費用として資産評価損等の69億円計上を予想しています。平成20年11月26日時点では、通期で115億円を見込んでおりましたが、第3四半期において特別退職金費用3億円を計上し、第4四半期ではライン統合、工場閉鎖等による固定資産の除却損等が当初見積もっていた金額よりも少なくすむ見通しとなり、通期で72億円を予想しています。

個別の業績予想については、一時的に工場稼働停止、在庫縮小、設備投資の見直し等、生産性の改善、コスト削減、を継続して実施しておりますが、世界的な景気の悪化の影響により、需要の急激な落ち込みが予想され、営業利益、経常利益、当期純利益ともに前回発表予想を下回る業績を見込んでおります。

以上の理由により、前回発表予想を上記の通期連結及び個別業績予想のとおり修正させていただきます。

(注) 上記の予想は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以上